

ボランティアガイドの紹介

市内で活躍している観光ボランティア団体を紹介します。

にしお観光ボランティアガイドの会

市内の観光施設などを紹介・案内（ガイド）することによって、市の観光全般を振興させる目的で平成19年に結成し、今年で10年目になります。会員は34人、平均年齢は72歳で、年相応に元気良く、楽しく案内しています。

昨年度、ガイドしたお客さんの数は約3,000人で、年々増加しています。「小京都西尾」をキャッチフレーズに、歴史公園を中心とした大給松平6万石の城下町に市内外のお客さんを案内しています。

イベントの手伝いとして、春は八十八夜の日には稲荷山茶園公園や実相寺などの「抹茶のふるさと西尾」を、秋はにしお本まつりで文化的財産「岩瀬文庫」旧書庫の案内などの歴史文化を紹介しています。



会 員 募 集

知識や経験は問いません。興味のある方は西尾観光案内所(☎57・7840 / 名鉄西尾駅構内)にお申し込みください。お待ちしております。



吉良あないびとの会

平成11年に結成し、今年で17年目になります。ガイドを通して「学び・喜び・結び」を生きがいとして活動しています。会員は34人で、吉良地区の文化財・史跡などのボランティアガイドや春・秋の年2回学習会を行っています。また「文化財特別公開ガイド」として、5月は国宝「金蓮寺弥陀堂」、11月は県重要文化財「旧糟谷邸」の案内をいずれも毎週日曜日に行っています。

ガイドの申し込みは、電話で受け付けています。市商工観光課の紹介や市観光協会ホームページを見て申し込む方が多く、例年約1,700人をガイドしています。人気のコースは、全国版「ご存じ!! 吉良三人衆を巡る」と「国宝金蓮寺と豪商の館旧糟谷邸」です。それと、白瀬隊長の生涯と吉良町との関わりを紹介する「白瀬南極探検隊長の墓」を詣でるコースもお薦めです。

問 い 合 わ せ 先

会 長 神 富 郎 (☎35・0814 / 吉良町)

事務局 黒部五郎 (☎35・1292 / 吉良町)



防災伝えよう！ のココロ

問危機管理課防災担当 (☎65・2138)

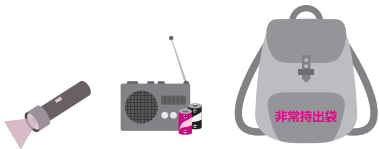
非常持ち出し品と備蓄品を準備しよう

南海トラフ地震などの大規模地震発生時に手ぶらで逃げると、その後の避難生活や情報収集に支障が出ます。地震が起こった時の「非常持ち出し品」と避難生活のための「備蓄品」のそれぞれの目的を知って、準備してください。

●非常持ち出し品と備蓄品

①非常持ち出し品とは

地震発生時に安全に避難するため、最低限持ち出すものです。できるだけ手軽に避難するため、避難に必要なものや貴重品は自分で持てるぐらいの重さにしてください。



- ・懐中電灯
- ・携帯ラジオ
- ・小銭
- ・貴重品 など

②備蓄品とは

避難生活に備えて蓄えておくものです。地震が起きた直後は、水、食料、日常生活用品はすぐには入手できません。7日分の水や食料を各家庭で蓄える必要があります。



- ・飲料水 (1人1日3ℓ)
- ・食料 (常温で長期保存可能、調理不要のもの)

●身分証や医薬品を普段から持ち歩く

身元が確認しやすいように、自動車運転免許証・保険証などの身分証を普段から忘れずに持ち歩いてください。また、地震発生時や避難生活での病気やけがに対応するため、常用の医薬品、緊急連絡先やかかりつけ医療機関を記入したものなども持ち歩いてください。

キッズアルバム

 <p>児島 麗奈ちゃん (下矢田町) 平成27年5月生まれ 姉ちゃん大好きな麗奈。もうすぐ姉ちゃんだね♡ 仲良くね！</p>	 <p>森 煌乃典くん (城崎町) 平成27年5月生まれ 笑顔が癒やし系のやんちゃボーイ☆元気いっぱい大きくなってね！</p>	 <p>山崎 怜ちゃん (吾妻町) 平成27年4月生まれ パパに似てお祭り大好きな怜ちゃん♪ 元気に大きくなってね♡</p>	 <p>荒川 福悠くん (西幡豆町) 平成27年4月生まれ 力強く優しいふくちゃん！ 笑う門には福来たるだよ☆</p>
 <p>鈴木 来珠ちゃん (新在家町) 平成27年2月生まれ 元気いっぱいの来珠ちゃん♪ いつまでも仲の良い姉妹でいてね♡</p>	 <p>村松 凌太郎くん (八ツ面町) 平成27年5月生まれ わが家のアイドル凌くん♡ 思いやりのある優しい子になってね。</p>	 <p>杉浦 海成くん (今川町) 平成27年5月生まれ やんちゃで食べるのが好きな海成。いつまでも兄弟仲良くね☆</p>	 <p>黒野 絵麻ちゃん (伊藤四丁目) 平成27年4月生まれ 絵本好きな甘えん坊。これから家族でいっぱいお出かけしようね！</p>